

全国統一要求（抜粋）

- 1. 全ての公共工事現場で直接工事費分の単価支払いを実現
- 2. 碎石、砂利、砂、合材などの骨材運搬の収入も1日4万円以上に
- 3. 過積載復活させるな



発行所
全日本建設交運一般労働組合
東京都新宿区百人町 4-7-2
電話 03(3360)8021
毎月25日発行
1部 50円

元請各社は使用促進措置を図り ダンプ労働者に適正単価を支払え



東急建設本社で開催された株主総会に参加した東北の仲間達（6月26日東京・渋谷）



自家用ダンプが不当に排除されないよう各所へ周知します。（7月11日北陸信越運輸局）

要求実現

東急建設は指導事項を守れ 東北ブロッック株主総会行動

東北ダンプ

東北ダンプブロッックでは、東日本大震災復興工事での使用促進・統一闘争を展開しています。宮城・岩手を中心に国交省・農水省・県・市発注の現場で元請交渉を積み重ね、大手ゼネコンから地場業者まで、建交労の優先使用措置を取らせ、常用単価5万円（税別）で就労しています。

しかし、一部のゼネコンが指導事項や仕様書で拒否していることを明らかにし、「指導事項や仕様書を守ることをしないならば、受注を辞退せよ」と迫りました。総会議長を務めている飯塚社長は、森谷部会長の発言を何度も遮ろうとしましたが、反論し、他の株主からも賛同する声が出され、飯塚社長は

東北ダンプブロッックは、6月26日（火）、東京都渋谷区内で開催された「東急建設株主総会」に出席し、飯塚恒生社長に対して、東急建設が指導事項や仕様書を遵守し、建交労の使用促進措置を図るよう直接迫りました。行動には、青森、岩手、秋田、福島

から森谷部会長、廣瀬事務局も参加しました。東急建設の総会は、午前10時から本社の会議室で執り行われ、森谷部会長がトップバッターに立ち、この間東急建設が国交省やネクスコなど発注工事を受注した現場で「12

北信越ブロッックは7月11日（水）に北陸地方整備局と北

要請行動

第25回全国キャラバン 北信越ブロッックが実施

陸信越運輸局に対する要請行動を実施しました。行動には、新潟ダンプ、北陸ダンプの各支部代表と全国ダンプ部会から参加しました。

北陸地整では、ダンプの単価改善要求と使用促進措置の指導徹底、1人親方労災保険の加入促進について言及しました。積算労務単価の引き上げがダンプ労働者の単価には反映されていない事を伝え、使用促進措置については、ダンプ規制法の成り立ち、昨年の国会質問などを紹介し、単価改善を実現することがダンプの交通事故防止対策であることを強調しました。1人親方労災保険の加入促進については、仕様書や建設職人基本計画で労災保険の加入促進を図ることが記されている事を踏まえ、厚労省と連携した取り組みの実施を再度要請しました。北陸信越運輸局では、自家用ダンプに対する見解を

「個別問題は後ほど話し合うように場を設ける」と回答しました。秋田ダンプ支部田中委員長は「秋田県内で国道7号線の小繋トンネル工事を36億円で受注し、土砂搬出でダンプの使用促進措置をもとめて東北支店に申し入れていたが、3ヶ月間放置されているが、7月3日、森谷部会長は東急建設本社へ訪れ、各現場での話し合いを確認しました。

組合員自らが参加する 職場環境の改善活動

全国ダンプ 重大事故発生の防止 安全な道路を求めて

プロドライバーにとっては道路が職場です。職場の環境改善、事故防止は組合の重要な課題でもあります。

栃木ダンプ支部は6月20日、県道を管理する栃木県栃木土木事務所、組合員からの意見をもとに8カ所の改善を求めました。藤坂砕石への県道は最重点路線です。今回の重点カ所として対応を求めたのは、県道二八二号葛生一岩舟線です。この路線は急カーブが続く峠道ですが、藤坂砕石工場があるためにダンプの交通量が多く、対向車と接触するなどの危険性が強く指

摘されています。最近には特に樹木等の成長により見通しが悪くなっています。土木事務所は所有者等を確認し、検討することを約束しました。

東海ダンプ支部は、7月2日ダンプキャラバンに向けた、愛知県庁へのレクチャーと合わせて、県道三三四号線、三一八号線・41号線の大型車の視点での危険カ所の改善（枝払い、補修・改修）を要請し、7月13日に実施するキャラバンの交渉時に回答をもらうようにしています。

行中にダンプのサイドミラーを割る危険性が高い地上2・5メートルの枝払いの必要性について説明すると担当者も関心を示しました。

全国ダンプ部会では、組合員自らが運行する道路の危険カ所の修繕や信号設置等を自治体や地元警察署に求める取り組みを広げようと方針化して来ましたが、改めて各県支部において道路の改善は安心して働ける職場の環境づくりと位置づけて、各組合員の声や要望を集めて、ダンプキャラバン等と合わせて取り組みを広げるようにしましょう。



栃木土木事務所の担当者に危険カ所を説明する栃木ダンプの仲間（右）（6月20日栃木県内）



来年の支部結成30周年に向けて要求実現と拡大で奮闘しよう（6月10日徳島市内）

**来年は支部結成30周年
組織の体制強化を推進**
徳島ダンプ支部は、6月10日（日）、第30回定期大会を徳島市内で開きました。

日下副委員長の主催者あいさつ後、丸岡書記長が議案を提案しました。報告では、一九八九年1月4日に85名で徳島ダンプ支部を結成しました。来年で30周年を迎えます。今までの運動の到達点を総括し、会場も借り大いに盛り上がるとう提起しました。

また、新人オールドの育成も議論され、今から募集し数年かけて育てていくことも確認しました。全ての提案が採決され、団結がんばろうで終了しました。

役員体制
委員長 小森 一弘
副委員長 山岡 敬二
同 日下 仁志
同 佐野 昭
書記長 丸岡 昭

**前委員長の遺志を受け継ぎ
皆で要求闘争を奮闘しよう**
7月8日（日）、戸田文化会館（戸田市）にて「第18回埼玉南部支部 定期大会」が行われ、65名が参加しました。

あいさつに立った三與木委員長は、「三與木宣久前委員長は、家族と仲間のために全力を注ぎたい人生を送らせてもらった」と葬儀などのお礼を述べると、仲間から大きな拍手が送られました。また「残土の就労闘争、合材の闘いは前進をしていると確信している。確実な運動を継続し、さらなる前進を目指しましょう」と話しました。

三與木前委員長の黙とうを捧げ、矢具野書記長から議案提案が行われ「就労闘争は目



三與木宣久前委員長の遺志を受け継ぎ、要求前進に向けて頑張ろう（7月8日戸田市内）

役員体制
委員長 三與木 剛
副委員長 8 名
書記長 矢具野 卓哉

**使用促進闘争で大奮闘
持続可能な産業にしよう**
7月8日（日）かながわ県民センターにて、神奈川県ダンプ支部第25回定期大会が21名の参加で開催しました。

高橋書記長より二〇一七年

役員体制
執行委員長 稲川 達也
副委員長 小沢 竹志
同 他 2 名
書記長 高橋 英晴